

■macOS10.15(Catalina) に対応しました。

mac OS10.15(Catalina) に対応しました。

■BIZTREK財務管理プログラム入替時の起動データについて、動作が変更となりました。(★重要★別紙参照)

プログラムに修正が行なわれたり、プログラム自体が破損してしまった場合、同一バージョンのプログラムの入替を行なう事があります。



v2020までは、プログラム本体 BIZTREK_ZP2020 に最後に開いたデータファイル (.4DDファイル) の保存場所を記録していました。プログラムの入替を行なった際は、データファイルの保存場所が初期化される為、初回のみ開きたいデータを選択する必要がありました。

v2021からは、データファイルの保存先はOSユーザのアクティブ4Dフォルダに記録するように変更されました。(プログラムとデータファイルの場所をセットで記録します。)

プログラムの入替を行なった場合でも、プログラムのインストール場所に変更がなければ、引き続き最後に開いたデータファイルを自動的に開きます。

注意

インストール時以外でもプログラムの保存場所を変更すると、変更後最初の起動時にデータファイルの選択が必要になります。

■その他、旧バージョンからの修正を行いました。

□元帳EXPORTの不具合修正=>「元帳」メニュー=>「元帳EXPORT」

「初期設定」メニュー=>「基本情報登録」にて、消費税設定の申告区分が「簡易課税」設定の場合、以下の不具合が生じていました。

- ・「初期設定」メニュー=>「環境設定」のIMPORT、EXPORT形式=「SYLK形式」に設定した時、「EXPORTデータにヘッダをつける」を設定しても、EXPORTされたファイルに、ヘッダ情報が表示されなかった。
- ・「初期設定」メニュー=>「環境設定」のIMPORT、EXPORT形式=「CSV形式」に設定した時、「元帳EXPORT」を行うとエラーが発生し、正しいEXPORTファイルの作成がされなかった。

□「財務」メニュー=>「消費税処理」から「原則課税集計」を選択=> 仮受消費税、仮払消費税一覧を印刷した際、数値が6桁までしか印字されずに切れていた。(Mac版のみ)